

学力向上に向けた授業改善の取組

稚内市立潮見が丘小学校 教諭 菊池 大

①取り組むきっかけ

当時の管理職から授業改善推進チーム事業について教えて頂き、推進教員に推薦された。初めて聞く制度で、複数の学校を行き来することに不安はあったが、潮見が丘小学校の先生方から、「いろいろな先生の授業に関わることはきっと力になる。是非受けた方がいい」と後押しをしていただき、引き受けることにした。

②取組を通じて、達成したこと、満足したこと、うれしかったこと

チームを組んだ稚内市立稚内中央小学校 中村 留美先生と、「まずは先生方の優れた実践を公開」することから始めた。月に一度の定例会議やいろいろな研修を受ける中で、次のような授業のポイントに気付くことができた。

- ・系統だった学習の重要性
- ・学習の目的 それに向けた課題とまとめ
- ・学習の見通しと振り返り など

これらを通信や授業づくりを進める中で先生方に伝えるとともに、国語と算数の単元系統表を作成し、活用を呼びかけた。

取組を進める中で、教育研究所や教育委員会から、研修の中で実践発表をする機会をいただくこともあり、自分たちの実践を振り返り、方向性を確かめることができた。

今回、授業改善を目的とした活動を進めてきたことで、自分自身が一番この事業の恩恵を受けたと考えている。御指導していただいた方々、一緒に学んだ先生方、そしてチームの中村 留美先生に感謝している。

③取組を進める上で、苦労したこと及び日頃から心がけていること

ＴＴを通じた活動を行うため、どのように学級担任の先生と関わっていくのか、ということに苦労した。それぞれ先生方の考え方があるため、一律な関わりではうまくいかないことも多かった。

そんな中、教育局の指導主事の考え方から「ＴＴがいるからこそできる授業を考えてほしい」と御指導いただいた。授業をする中で、より学級担任の先生が動きやすく、児童の活動の時間が増えたり、考えを深めたりするにはどうすればよいかを考え、次のような指導ができるようにした。

- ・Ｔ１が指導を進めている間にＴ２が板書をする
- ・Ｔ１が書画カメラを使って児童に発表させている間にＴ２が書き留める
- ・Ｔ１とＴ２が手分けをして児童を見取り、いっしょに指名計画を立てる など

また、打ち合わせの時間をもつことができないこともあるので、授業の目標だけはしっかりと共有して授業をつくり上げていった。

④今後の取組について

これまでの実践の中で作成してきた資料を、さらに使いやすいものになるよう、先生方の協力を得ながら更新していく必要がある。また、授業内容の定着を図るため、振り返りの時間を確保し、効果的に進めていきたい。

これからも自らの実践だけではなく、先生方のよりよい実践を取り入れながら、情報を発信できれば、と考えている。